

2020年9月29日

豊岡市議会

議長 関 貫 久仁郎 様

議会広報広聴特別委員会  
委員長 上 田 伴 子

### 委員会調査中間報告書

本委員会に付託された調査事件について、豊岡市議会会議規則第45条第2項の規定により、下記のとおり中間報告します。

#### 記

#### 1 付議事件

議会広報紙の発行及び市民意見の聴取、並びに広報・広聴に関する調査研究等

#### 2 委員会調査経過

本委員会は、2019年11月の臨時会において委員選出が行われ、新体制でスタートした。

今日までの取り組みとして、①二次元バーコードの掲載による動画配信。②一般質問の頁中、「問」と「答」を対とした「大見出し」のリニューアル。③「議員のひとこと」欄を新設し、議員の思いやつぶやきを掲載。④一般質問の写真は、より臨場感を出すために、紙面レイアウトの配置替え。⑤市民の皆さまに議員を身近に感じてほしいとの思いから、23人のプロフィールを掲載。⑥各会派の抱負・取り組みを掲載。⑦意見交換をする市民団体等を議会だよりで募集し、広聴活動へつなげる取り組みを行った。

議会だよりの発行にあたっては、各号それぞれ3回の委員会を開催し、掲載内容の検討、紙面のレイアウトを行いながら原稿の作成・編集を行った。

編集にあたっては、掲載内容の確認のため、会議録と原稿のチェックを行い、記事の読みやすさに留意しながら最終校正までの作業を行った。

さらに本文中、写真をできるだけ多用するとともに、市民等の写真を掲載し、より親しまれる議会だより発行に心がけた。

今期は、新型コロナウイルス感染拡大、予防の観点から管外行政視察の実施を見送った。

また、広報紙に求められる役割等のノウハウを学ぶことを目的に、毎日新聞社 毎日文化センター主催の近畿市町村広報紙セミナー、コンクールへのエントリーも予定していたが、中止となったため参加・応募をすることができなかった。

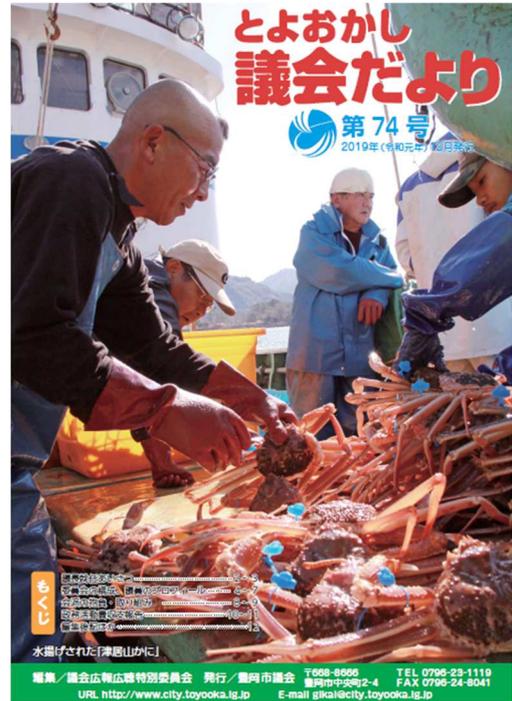
また、開かれた議会を目的に、広聴活動の新たな試みとして、市民を対象とした「議会カフェ」を予定していたが、同様に実施を見送った。

【議会だよりの発行】

○第74号（2019年12月発行） 12ページ

〈表紙〉 水揚げされた「津居山かに」

- 〈内容〉
- ・議長就任あいさつ
  - ・委員会構成
  - ・議員のプロフィール
  - ・会派の抱負・取り組み
  - ・政務活動費収支報告
  - ・まちのSmile&Genki ほか



○第75号（2020年2月発行） 24ページ

〈表紙〉 人生の節目 希望を胸に 友と喜び

- 〈内容〉
- ・12月定例会の報告
  - ・一般質問に18人
  - ・意見書、請願・陳情
  - ・委員会の抱負と課題
  - ・3月定例会のお知らせ
  - ・視察報告
  - ・視察受け入れ状況
  - ・募集！皆さんの声を聴かせてください！
  - ・9月定例会・11月臨時会の委員会意見と当局回答
  - ・まちのSmile&Genki ほか



○第76号(2020年5月発行) 20ページ

〈表紙〉

新型コロナウイルス感染症。私たちは今、未知なるウイルスと闘っています。不安やストレスを感じることが増えていますが、こんな時こそ冷静さを失わず、他人を思いやる気持ちを忘れずにみんなで力を合わせて乗り越えていきましょう。まち中に元気な子どもたちの声、たくさんの笑顔があふれますように…

(清滝小学校校庭)



〈内容〉・3月定例会の報告

- ・代表、一般質問に17人
- ・意見書、請願・陳情
- ・視察報告、6月定例会のお知らせ
- ・12月定例会の委員会意見と当局回答
- ・まちのSmile&Genki ほか

○第77号(2020年8月発行) 20ページ

〈表紙〉 「みんなで食べる給食はおいしいね～」

6月1日から市内各小中学校が再開しました。

新型コロナウイルス感染症の予防、拡大防止のため、「机の距離の確保」「みんな前を向く」といったルールを守りつつ、新たな「楽しい給食」の形がスタートしました。

(田鶴野小学校2年生)

〈内容〉・6月定例会の報告

- ・一般質問に16人
- ・意見書、請願・陳情
- ・9月定例会の予定
- ・3月定例会・4月臨時会の委員会意見と当局回答
- ・まちのSmile&Genki ほか



(今後の議会だよりの発行予定)

○第 78 号 (2020 年 11 月発行)

〈表紙・内容〉 未 定

### 3 今後の課題

今日まで培ったノウハウを踏襲しつつ、さらに検討しながら市民に親しまれる紙面づくりに心がけた。

現状として、①発行日が議会開催月の翌々月でタイムリーでない。②委員が毎年変わるため、広報に係る研修などにより資質の向上を図るとともに、広報編集要領の共通認識による編集を行う必要がある。

今後の課題として、①文字を減らす勇氣と余白のある紙面構成を念頭におき、より一層市民の皆さまに親しみを持って読んでもらえる議会だよりにする。②議案表決の結果にかかわらず、委員会での審査状況を掲載するなど議会の様子を詳細に伝える必要がある。③シリーズ記事、トピックスの掲載などにより、市民にさらに市政や議会に関心を持っていただき、議会の状況をもっと知っていただく必要がある。④読者（市民など）が投稿などで議会だよりへ参加ができる環境を整える必要がある。⑤開かれた議会を目指す観点から、積極的な広聴活動の実施をする必要がある。

継続して紙面構成全般について「より見やすく」「より手に取ってもらいやすい」「女性や若者にも親しみやすい」議会だより作成に向けた検討が必要と考える。

ホームページ等も活用する中、市民への詳細な情報提供、タイムリーな情報発信にさらなる検討・努力が必要である。